

「秋の芸術・文化祭」開催



(一財)鳥取県労福協 第285号

題字 柴山抱海 書

ふ・う・い・え



「第10回 労福協まつり」開催

年頭あいさつ



一般財団法人
鳥取県労働者福祉協議会
理事長 前田 厚彦

新年あけましておめでとうございます。

昨年、2014年という年は、日本の戦後民主主義とは何であつたのか、その問い合わせをあらためて突き付けられた一年でした。

そのような中でも鳥取県労福協は、皆様のご理解とご協力により、学習会や労働相談をはじめ、スポーツ祭典や美術展、祭り、福祉ランパ活動など多くの事業を実施することができました。また、連合鳥取や県経営者協会、行政と連携して作成している「THE社会人」と「THE社会人・基礎編」は新社会人や高校生をはじめ多くの労働者や経営者の皆様から好評を得ています。

しかし、今、この国の安全保障のあり方を脅かす政策や、労働における規制緩和、社会保障を後退させる政策が矢継ぎ早に推し進められ、貧困や格差は拡大し、勤労者や生活者は雇用不安や生活不安を払拭できない状況が続いているです。

今年を、労働者福祉運動の原点に立ち帰り、労働運動や自主福祉事業との連携を一層密にしながら職場・地域に根ざした運動を開発することにより「連帶・共同でつくる安心・安全の福祉社会」の実現に向けて再スタートを切る年にしていきましょう。皆様のご多幸と、福島県をはじめとした東北地方の一日も早い復興をお祈りし、新年のご挨拶いたします。



日本労働組合総連合会鳥取県連合会
会長 **五十嵐美知義**

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様には、ご家族お揃いで、健やかな新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

日ごろより連合鳥取の運動に対しまして、あたたかいご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の日本経済は、消費税の引き上げに伴う消費の反動減により実質GDPはマイナス成長となり、日銀の大膽な規制緩和により、円安と株高の上昇をもたらしましたが、その恩恵は一部の大企業と富裕層を潤すだけがありました。

加えて、師走の総選挙は自民党圧勝により「労働者保護ルールの改悪」や「格差の拡大」をさらに深刻化する状況にあります。

こうした厳しい現状を改善するために連合は、働くことに最も重要な価値を置く「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざし、労福協の皆さんとともに取り組みを進めてまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2015年が皆さんにとって、素晴らしい年になることをお祈りし、新年のごあいさつと致します。



中国労働金庫鳥取県営業本部
本部長 **福田 光明**

新年おめでとうございます。

昨年は、消費税増税や円安による輸入コスト上昇等により勤労者の可処分所得は減少し、人口減少・高齢化社会の到来で社会保障制度に対する不安増大など、勤労者を取り巻く環境は厳しい状況が続いています。

私たち労働金庫は、勤労者のための福祉金融機関であることを常に原点に置き、会員・構成員の皆様との絆を一層強めつつ、「助け合い」を基軸とした施策、勤労者の「安心」につながる施策に取り組んでいきます。そして、皆様に一層「信頼され頼りになる福祉金融機関」をめざし、役職員一丸となって邁進していく所存です。引き続いてのご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本年が、より安心して暮らせる社会であり、そして、皆様にとって一層の飛躍の年となりますようご祈念申し上げます。



新年



全労済鳥取県本部

本部長 **奥田 剛**

新年あけましておめでとうございます。

日頃は、全労済の運動と事業への多大なるご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

大阪の地で始まった火災共済は、組合員の皆さまの「たすけあいの力」を結集しながら、昨年12月に事業開始60年という節目の年を迎える、全国で460万件の契約をいたしました。

また、阪神・淡路大震災を契機に自然災害共済を発売し、保障の充実化を図ってまいりました。

この火災共済・自然災害共済を本年2月に商品改定し、防災・減災の取り組みと合わせて、組合員の皆さまの「暮らしの安心」をお届けし、全労済の理念である「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」を実践し続けてまいります。

本年が、皆さんにとってすばらしい一年になりますことを祈念して、新年のごあいさつといたします。



鳥取県生活協同組合

理事長 **浜江 隆二**

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、当組合の事業や活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

暮らしを取巻く環境は、増税に加え円安に伴う輸入原材料等のコスト増がすすむ中、生活必需品等の相次ぐ値上げなど家計への負担が一層増してきております。また、様々な社会的問題も山積した今まで、生活や将来にむけた不安が一層広がってきてています。

このように難しい時代の中ではありますが、創立65周年を迎える本年も、事業と様々な活動を通じ、安心して暮らせる地域社会づくりにむけ少しでもお役立ちが出来るよう取組みをすすめて参る所存です。今後も諸団体の皆様と協同・共助の価値を大切に連携を強め、と一緒に地域の中で活動をすすめて参りたいと存じますので、引き続きご支援ご協力をお願い致します。

年頭にあたり、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

第285号 もくじ

新年ご挨拶	2 ~ 3
第25回囲碁将棋大会のご案内	3
「THE 社会人」2014年度版発行	4
福祉カンパ活動実施中	4
「過労死をなくす鳥取県のつどい」	5
こころの相談会開催報告	5
西部労福協研究集会報告	6

鳥取県からのお知らせ	6
中央労福協加盟団体代表者会議	7
全労済からのお知らせ	7
鳥取県の最低賃金	7
「鳥取コミュニティ・シネマ映画上映会」のお知らせ	8
「どんぐりの木」千代三洋工業㈱からのお知らせ	8

ご挨拶



鳥取医療生活協同組合

組合長理事 守山 泰生

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年、私達は情勢の激変に立ち向かい、長期計画の具体化を進めてきました。「いのちと暮らしを守り、憲法を活かす大運動」、超高齢化・少子化・人口減等の社会構造変化の中で、いのち輝くまちをめざし「鳥取医療生協らしい地域生活支援システム」に挑戦してきました。

今年は、いのちや暮らし、社会保障、TPP、原発再稼働、憲法等が政治の熱い焦点となります。地域社会も変化していきます。私達は、協同組合の理念・仕組みを活かし、高齢者と若者が共に輝く社会めざして運動と事業に邁進する決意です。

皆様にとりまして、よき年になるよう祈念し、新年のご挨拶といたします。



鳥取県労福協東部支部

支部長 保木本 淳

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は、東部支部の活動に格別のご理解とご支援を賜り心より厚くお礼申し上げます。

当支部では鳥取市と共に婚活プロジェクトを立ち上げました。労働者のライフサポート体制の強化・充実にむけて、結婚を望まれている多くの構成員のみなさまにご活用いただきたいと願っております。また、婚活を通じた地域ぐるみの取り組みが構成団体の利用促進や地域・団体の枠を越えた連帯の強化、地域活力の創出につながることを切望いたします。

本年もみなさまの一層のご理解・ご協力をお願い申し上げますとともに、構成団体のますますのご発展と構成員のみなさまのご健勝をお祈り申し上げます。



鳥取県労福協中部支部

支部長 平信 憲一

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別なご高配を賜り有り難く厚くお礼申し上げます。新年を迎える皆様とご家族のご健勝と、今年一年が明るい話題にあふれた年になるよう、心よりお祈り申し上げます。

2014年を振り返ってみると、先行き不透明感が強い年ではなかったでしょうか。

政府が打ち出した成長戦略によって、国内はデフレ経済から脱却を図りつつあるように見られているものの、われわれ労働者の購買意欲が高まったとは感じられないのでは無いでしょうか。デフレ経済のもとで、格差社会の拡大に伴う低所得者層の増大、失業率の高止まり、雇用不安などの厳しさが一段と増しています。そんな日本経済において、個人の力では出来る事に限りがあるかもしれません。だからこそ、われわれ組合員同士、絆を持ち、より一層強い組織作りが出来るように取り組んでまいりたいと思っております。

皆様のご協力を改めてお願い申し上げ、簡単ではありますが、新年のご挨拶とさせていただきます。



鳥取県労福協西部支部

支部長 遠藤 憲二

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、労福協西部支部の活動にご理解とご支援を賜り心より御礼を申し上げます。

我々を取り巻く環境は、賃金格差をはじめとする様々な格差の拡大、増税・物価上昇と生活者にとって厳しい状況となり、日々の糧となる目標や安らぎ・癒しを求めることが重要となっています。

昨年開催した第11回労福協まつり「秋の文化祭」は、趣味や目標を持ち活動している組合員や地域の皆さんに、練習の成果を発表する場を提供し、来場の皆さんにはひと時の安らぎを得ていただける新たな文化企画として転換し、皆さんのが活動と共に将来的には地域に根付くことを期待しています。

本年も昨年同様に、各種活動はもとより秋の文化祭に積極的なご参加のお願いを申し上げ、年頭にあたり皆様のご健勝とご多幸を祈念し、新年のご挨拶といたします。



第25回

鳥取県労福協 囲碁・将棋大会開催のご案内



開催日時	2015年2月8日（日）受付10時 開会10時20分
開催場所	「まなびタウンとうはく」東伯郡琴浦町徳万266-5（浦安駅東隣）電話0858-52-1111
申込先	<p>□労福協東部支部 〒680-0847 鳥取市天神町30-5 鳥取県労働会館3階 電話0857-27-4188 FAX0857-24-8149 e-mail tottori@roufuku.jp</p> <p>□労福協中部支部 〒682-0804 倉吉市東昭和町286-2 電話0858-23-7205 FAX0858-23-7206</p> <p>□労福協西部支部 〒683-0067 米子市東町189-2 西部労働者福祉会館2階 電話0859-23-2030 FAX0859-23-2090</p>

労働ハンドブック 『THE社会人2014年度版』完成!!

無料
配布中

ミニ冊子『働きはじめるあなたへ (THE 社会人基礎編)』の発行に引き続き、今年も労働ハンドブック『THE 社会人』(A5版 62ページ)を11,000部作成しました。働く人の権利と義務をわかりやすく、イラスト入りで表現しています。学校や企業団体から冊子の送付依頼が続々と届いています。また、冊子を活用した研修会や授業の依頼にも対応しております。

多くの皆様にご活用していただいております。



社会人前教育 鳥取緑風高校昼間部 生徒35名



社会人前教育 米子東高校定時制 生徒48名



産業人材育成センター倉吉校 訓練生25名

研修の内容(テーマ)は
『働くときの基本ルール』
『働きときに必要な能力』など



『THE社会人』
A5版62ページ
2014年11月発行



『働きはじめるあなたへ』
A6版32ページ
2014年9月発行



『労働相談Q&A』
A4版42ページ
2014年9月発行

問合せ先

(一財)鳥取県労働者福祉協議会
〒680-0847 鳥取市天神町30-5
電話 (0857) 27-4188・FAX (0857) 24-8149

福祉カンパ活動実施しています!

多くの皆様からカンパのご協力を頂いています！毎年ありがとうございます。



集まったカンパ金で

- ☆子どもにかかる
福祉施設等への支援
- ☆小規模作業所等への支援
- ☆交通事故等から子どもを
守る活動への支援を行っています。



実績としては、各支部より福祉施設等へ寄付、また県内の小学校へ学童反射付蛍光傘を贈呈しました。

三支部での街頭カンパ活動の様子



東部支部



中部支部



西部支部

過労死をなくす鳥取県のつどい

2014年11月30日とりぎん文化会館開催

過労死等防止対策推進法が昨年11月1日に施行され、毎年11月は国が定める過労死等防止啓発月間となりました。このため鳥取県では初めてのつどいが実行委員会の主催により鳥取労働局と鳥取県等の後援により労働者や関係者約80名が参加して開催されました。

冒頭の河野鳥取労働局長の挨拶の後、基調講演では全国過労死を考える家族の会代表世話人寺西笑子さんの自らの体験や、父親を亡くされた子供さんの切実な作文の発表があり、過労死をなくさないといけないという気持ちを共有することができたと思います。

次いで新法の意義と内容の説明が過労死弁護団全国連絡会議高橋真一弁護士からあり、全国の自殺者の労災認定数は内閣府の自殺統計数からみると2.7%であり氷山の一角ではないのかという問題提起もありました。

最後の高橋弁護士の司会によるパネルディスカッションでは産業医の井上医師、米子高専の加藤准教授、寺西代表とともに労働相談員の立場で参加し、「みなくる」では長時間残業やサービス残業の相談も多いこと、またそれがパワハラなどと複合していることが多い状況や、今後の対応策としては、職場風土を変えること、労働者本人の気づきと行動や早めの相談、そして関係者の連携などの対応が大切ではないかと発表させてもらいました。

今回のつどいを契機として関係機関や労働団体、関係者が過労死をなくすためにさらに連携していくかなければならないという思いを新たにする良い機会となりました。

鳥取県労福協「みなくる」
管理運営マネージャー 中西紀夫



ボランティア活動報告 カウンセラーによる 『こころの相談会』 2014年11月開催



今年で5年目となる産業カウンセラーの有志によるこころの相談会を11月に県内3会場で開催しました。3会場で合計22件の相談があり、述べ23名の産業カウンセラーで対応しました。

	鳥取会場	倉吉会場	米子会場
場所	県立図書館	倉吉交流プラザ	米子コンベンションセンター
開催日	11月16日(日)	11月23日(日・祝)	11月30日(日)
産業カウンセラー	10名	7名	6名
相談件数	8件	8件	6件

相談内容は、家族が病気になり将来が不安とか、子どもとの接し方で悩んでいるなどがありました。仕事関係の相談では、職場の上司や同僚からの嫌がらせで悩んでいるとか、環境が変わり仕事への不安や話しにくい環境であるなどの悩みがありました。家族のことや仕事のことを一人で抱え込んで、限界の状況にいらっしゃる相談者も多かったように思います。

参加されたカウンセラーからは、相談者から『心が和らぎました。来て良かったです。ありがとうございます。』と涙してくださいり、とても嬉しい気持ちになれたとの感想も聞かれました。

『こころの相談会』や『産業カウンセラー』の認知度が上がりつつある中で、カウンセラーの質の向上が求められていることを強く感じ、仲間とともに自己研さんしていきたいと感じました。

鈴木直子



鳥取会場の参加者



倉吉会場の参加者



米子会場の参加者

西
部
労
福
協

『スローライフについて考える』第33回研究集会開催

開催日 2014年11月13日(木)~14日(金) 会場 香川県高松市「オークラホテル高松」

【第1日目 13日(木)】

講演1. 「スローライフのすすめ」

講演2. 「グリーン・ツーリズムの現状」

講 師 元高松市副市長 岡内 すみ子 さん

講 師 香川大学地域社会システム学科 原 直行 さん

同研究室で研究活動を続いている学生の実践レポート 3名

【第2日目 14日(金)】

講演3. 「まちおこし・労福連携モデル事業」

特別報告「第46次海外労働者福祉視察団」

講 師 さぬき市長 大山 茂樹 さん

報告者 連合香川会長代行 榎原 一吉 さん

中四国9県労福協より90名の参加があり盛大に開催されました。西部労福協を代表して伊丹幸男西部労福協会長、地元を代表して新藤龍男香川県労福協会長より挨拶がありました。

初日は、スローライフとは、「価値観の転換」と定義づけられ、地域おこしについて目的を明確に指示し活動することが大切であると講演されました。また、グリーンツーリズムとは、山や海、川で人々との交流を楽しむ余暇活動で、これにより経済的にも豊かにしたいが実現できないのが最大の課題と述べられました。

2日目は、さぬき市の定住化に向けた労福協との連携した取り組み等について講演があり、最後に第46次視察団からの報告があり、研究集会を終了しました。



鳥取県からの
お知らせ▶▶

女性の活躍を促進します！



女性の活躍促進のため、女性を中心とした就職支援、女性の創業・起業支援など、子育て中の女性をはじめとした就業を総合的に支援します。

◎女性の活躍による
企業・地域の活性化

✿レディーズ仕事ぶらざを御利用ください



鳥取、倉吉、米子の各ぶらざで女性を中心に就職支援を実施しています。
 ・個別事情に応じた相談対応
 ・スキルアップセミナー等の実施
 ・産休、育休代替者の紹介 など
 ⇒ 女性就業率を向上し女性の離職を抑制します。

■利用者の声

・悩みを聞いてもらえるし、面接のアドバイスなどもしてもらえるのでとてもありがたい。

・相談する中で志望動機がはっきりし、自分に自信が持てるようになった。

■利用者を採用した企業の声

・人柄もよく能力も高く、今後は求めていた仕事以外のこともしていただこうと思う。

・弊社が求める働き方とマッチした人を紹介してもらい、良い関係で仕事ができている。

	レディーズ仕事ぶらざ鳥取	レディーズ仕事ぶらざ倉吉	レディーズ仕事ぶらざ米子
場 所	鳥取市扇町 115-1 第一生命ビル 1階	倉吉市山根 557-1 パープルタウン 1階	米子市加茂町 2 丁目 204 米子商工会議所会館 2階

✿女性のための創業ファーストステップセミナー

・女性が創業を考えるきっかけとなるセミナーを県内3地区で開催しました。(本年度は5月と9月に開催)
 ・創業・起業に踏み出そうとする女性を応援します。
 ⇒ 女性の能力を活かした地域の元気づくりを促進します。



■参加者の声

・仕事をすること、考えることなど、とても貴重な意見を聞けた。

・大変わかりやすかった。創業を遠くに感じていたが、ぐっと身近に感じられた。

会 場	鳥 取	倉 吉	米 子	計
参加者数	31	9	37	77
創業見込数	8	1	12	21

※倉吉会場は9月のみ開催。

※創業見込数は参加者アンケートの回答結果等による。

県はきっかけづくりを、商工団体は実践的な創業支援を行うことで、女性創業者の発掘、育成を行う。

中央
労福協

第6回 加盟団体代表者会議開催

開催日 2014年11月28日(金) 会場 東京[ホテルラングウッド2階孔雀]

2014年度は中間年にあたる中央労福協の総会が開催されました。

古賀会長の挨拶の後、今年度の総括として①貧困や多重債務のない社会に向けた取り組み、②労働者自主福祉運動の連携による協同事業の利用促進運動について、取り組みの成果、現状、課題と詳細に大塚事務局長より報告がありました。

引き続き2014年度の会計決算報告を承認し、2015年度予算案が承認されました。

総会終了後、特別報告「持続可能な社会と地域再生に向けて」～東日本大震災からの復興～について小野務労福協北部事務局長より現状と課題について報告がありました。

続いて記念講演「人口減少社会の実像と地域再生への課題・展望」が慶應大学樋口実雄教授よりありました。復興と押し寄せてくる人口減少問題について考え深い講演でした。

(事務局報告)



火災共済事業開始60周年記念事業・組合員還元事業

全労済ふれあいミュージカル

「ピーターパンとウェンディ」

日 時 2015年3月22日(日)

開場13:30 開演14:00・終演15:30 ※時間は予定です。

公演場所 米子コンベンションセンター 1,900人ご招待 全席指定

応募資格 全労済鳥取県本部の組合員とその家族 主 催 全労済鳥取県本部

入場
無料

上演およびご招待のお知らせ

組合員の皆さまのご理解とご協力で、「火災共済」は、1954年の事業開始から60周年を迎えました。

60周年を記念し、全労済ふれあいミュージカル「ピーターパンとウェンディ」を上演します。

お問合せ先 全労済 鳥取県本部 事業推進部（鳥取県共済生活協同組合）☎0857-22-8234

鳥取県の最低賃金

■地域別最低賃金

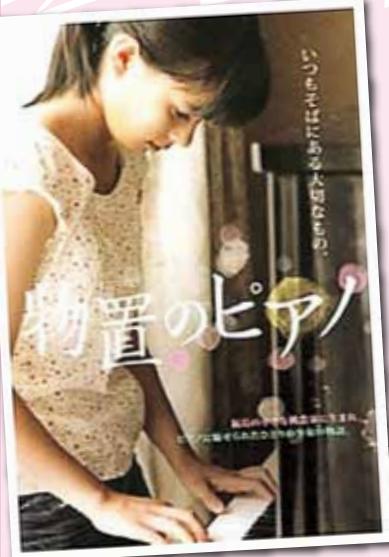
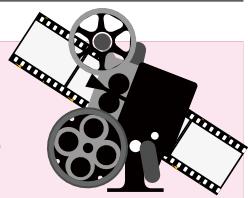
最低賃金の名称	時間額	発効年月日
鳥取県最低賃金	677円	平成26年10月8日

■特定（産業別）最低賃金

最低賃金の名称	時間額	発効年月日
鳥取県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金	743円	平成26年12月25日
鳥取県各種商品小売業最低賃金	700円	平成26年12月13日

詳しくは、鳥取労働局労働基準部賃金室（0857-29-1705）又は各労働基準監督署にお問合せ下さい。

映画「物置のピアノ」上映会～震災、あの日からを考える。



私たちには、忘れないはず、震災、原発、そして福島のこと。間もなく、あれから4年、私たちの生活の何が変わったのでしょうか？何か置き去りにしていませんか？

本作は、福島県桑折町を舞台に、或る桃栽培の農家の少女と家族を通して描いた人間ドラマです。災害の一年後から始まる物語は、其の復興と除染へ動き出す中で、人々の本当の生活の復帰と回生とは何なのかを問い合わせます。稼業の危機の中で突然帰郷する姉との関係や汚染の危険区域から避難してきた少年との出逢い、そしてピアノを弾くことを悲しい過去への贖罪と感じる少女、其々の思いや確執を超えて、家族として其の土地に生きる事と向き合う青春と人々の肖像です。昨年、地元福島の人々の力で完成した、まさに被災地の今を描いた作品です。是非、ご覧下さい。（熊谷）

上映時間 2月22日(日)
午前10:30 午後2:00(2回上映)
会 場 鳥取県立博物館2階講堂

**入場
無料**

*平成26年度鳥取県鳥取力創造運動支援補助金事業 *シネマネスト JAPAN作品

<問い合わせ> 主催・鳥取コミュニティシネマ TEL 080-8907-9293 (代表・清水)
(協力)「物置のピアノ」製作委員会 (後援) 鳥取県、鳥取県教育委員会、鳥取市、鳥取市教育委員会

発行責任者 前田厚彦
発行日 二〇一五年一月
編集責任者 小泉俊一
編集委員 算雅人・朝田雅伸・中村勝・谷口美紀
(一財)鳥取県労働者福祉協議会 第285号
TEL(0857)271-4188

あけましておめでとうございます

心から応援したい
大切な人へ
元気の贈り物

千代三洋工業(株)です。ドングリ盆栽を作成販売しております。
本年も宜しくお願い申し上げます。

殻をやぶって芽を出すドングリ
冬もLEDで元気に育成中です！

やる木になる氣



■ご注文・お問い合わせ

千代三洋工業株式会社 〒680-0904 鳥取県鳥取市晚稻308番地 TEL. 0857-28-8477 FAX. 0857-28-8933

設立年月日 1992年12月1日(決算3月31日) 人員 44名
鳥取県、鳥取市、鳥取三洋電機株[現三洋電機株]による重度障害者多数雇用事業所(第3セクター方式)として設立された会社です。



鳥取県労福協HPへ
(スマホ対応)